

協力をよろしく

副会長 廣田美子

「春よ来い 早く来い」「春は名のための風の寒さよ」など春を待つ言葉は多い。暖房、布団も充分ではなかった昔はどれほどか春を待ったことと思います。また春は悲喜こもごもの人生があり、喜ぶ人、悲しむ人、別れる人、出会う人など何かと落ち着かないものです。私もかつて転勤の多い仕事であったため、落ち着かない春を過ごしていました。しかし、考え方を換えれば慌ただしい春を迎えるのは、若いという現役世代の特権かもしれません。

昨年を振り返ると 30 周年記念行事もあり大変忙しかった 1 年でしたが、皆さんの協力ですべて無事終わることができました。ありがたいことです。

さて、ご存知のように本会の事業には現任研・スキルアップ・養成講座・認定試験・勉強会・広報発行・利用者の会などがあり、その一つひとつが計画、協議、実施、反省会等の経過を経てなされていますし、各担当はそれぞれに日々奮励、努力を重ねています。

ところで、先日、年間 1 回でも派遣に出られた方を対象に今まで曖昧であった表記について、本会としての「表記統一基準」が配布されました。これは、派遣現場での要約筆記の表記、つまりスクリーンが何のためにそこにあるのか、誰のためにか、ということを中心に立ち返って鑑み表記を検証した結果の統一基準です。

要約筆記技術の研鑽の先には、それを利用して社会参画をする中途失聴者・難聴者の存在を見据えてのことです。

みなさん、これらの事業に参加してみてください。新しいものが見えると思います。

やまもも会員

4月現在 62名

(内 賛助会員4名)

## <要約筆記 高知・やまもも の できごと>

平成14年  
(2002)

- ・派遣数 65 件 (含 養成講座講師派遣)
- ・かたつむり国語教室
- ・よさこいピック支援(ナ協依頼)
- ・助成 日本車両競技公益資金記念財団
- ・会長 松村滋子



\*\*\*\*\*

中途失聴者・難聴者の親睦会

森岡 知佳

中途失聴者・難聴者の親睦会に参加させていただきました。仕事では、高齢の方と話すことも多く、大きく口を動かして土佐弁バリバリの口調で口話をしてもらったことのあるのですが、耳の不自由な方と接した経験は、10年ほど前に手話サークルに参加させてもらったとき以来のことでした。心配していたほどのこともなく、初対面の方々と意思疎通でき、食事と担当の方からデザート（いも餅）&レシピも教えていただき楽しく過ごせました。中には、『卒寿になる』との90才の方もいらっしゃって驚きました。メンバーの方々は、この集まりをとっても楽しみにされていた様子で、会えて嬉しくてたまらないという表情で喜んでる姿を見ると、普段はそれぞれ様々な場所でお互い辛いこともありながら頑張っていて、ここで同じ立場の同士と会い、元気な姿や様子を確認し、そしてまたそれぞれの生活に戻り、生きていく力になるのかな、と思いました。やまももの皆様の実際の活動も見れて、この方々のためにも頑張ってもらえるのだと実感した有意義な一日になりました。

\*\*\*\*\*

聴覚障害者と出会って

入口 愛美

1月始め、私は、難聴者・中途失聴者の当事者会に参加した。聴覚障害者との関わりはこれが初めてであった。当事者の中には、手話や筆談、口話と相手や場に合わせて対応している方もいた。要約筆記の学習で聴覚障害について学んできたが、いざ会話をすると、無意識に大きな声で話しかけてしまったり見慣れぬ手話の動きを見つめてしまったりと自分の至らなさを痛感した。しかし、要約筆記を必要とする人たちに出会えたことで、より要約筆記者への憧れが強くなった。今まで知らなかった聴覚障害の世界を、やまももの皆さんと学び知っていければと思います。

\*\*\*\*\*

新年度に思うこと

植田 雅男

近隣にフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」をモザイクした立て看板がある。私感ですが、何年か前、フェルメール展で、その鮮やかなブルーと明暗技法が春の日差しと新たな芽吹きを醸し出しているような感動を与えてくれたことがありました。まさに新年度は少しの不安を含みながらも、それを上回る大きな期待感で生き生きと力溢れる時ですね。年寄りにはいい刺激です。

三宅初穂氏は要約表現を学ぶツールとして電車内や町の電光掲示板のニュース、新聞の見出しを上げ、「この表現で伝わる内容はどれぐらいか」「どうしたら複数解釈を許さない表現になるか」を、あたかも藤井6段の屋台骨である詰将棋のように、試行錯誤を繰り返し、要約表現を練る。しかも生活の一部として楽しんでいるらしい。望むことへの取り組みの温度差を反省、自分との対話を試みながら、少しでも近づければと考えています。「やまもも」の更なる飛躍と要約筆記の認知度向上に期待しています。

\*\*\*\*\*

★★再び【お詫びと訂正】

★そよ風の吉田様から以下のとおりご指摘がありました。

広報ナンバーの29年8月号からナンバーの間違いが続いているとのご指摘。またまた、お詫びして訂正いたします。そよ風の吉田様、度々ありがとうございました。

\*\*\*\*\*



\*\*\*\*\*

人・ヒト・ひと

横顔-16

小笠原文香さん

★ご本人の言葉通り確かに楽道家さんのように見えますし、またムードメーカーの面も十分発揮されているようです。更には頼もしいことに、仲間のために力を発揮できる方でもあります!!

■入会年は? / 平成20年です。確か?受講生は10名ちょっとだったと思います。現在、3人が活動しています。



■趣味は? / 趣味とまで言えませんが、ジャム作りです。自分の好みにできるのがよくて、1年中欠かすことがなかったのですが、最近は忙しくて作ってないです。この前TVでジャム(糖度40%以下)の作り方を観たので、時間ができたら作ってみようと思います。

■嫌いなことは? / 片付けですかねえ。いつもとっ散らかってます。誰か片付けて~!

■習慣 / 毎朝放送しているテレビ体操(日曜日は除く)。

■理想のタイプ / 頭脳明晰で包容力のある人。自分にないものを持っている人がいいです。

■いけないと思いつつ

やってしまうことは? / 夕食後のアイスクリーム。寒くなってもやめられません。

■自分の性格は? / 大雑把で楽道家。同居人?!の夫は違ろう、能天気よと、言ってますが…飽きっぽいです。要約筆記が長続きしているのが自分でも不思議?!

★次回をお楽しみに

## 読書

ハリネズミの願い

トーン・テレヘン(著)

新潮社

松谷朝美

オランダの国民的作家。昨年、妹から誕生日プレゼントの1冊で、かわいいハリネズミの挿絵が気に入りました。この物語は読み手の受け取り方で賛否が分かります。付き合いが苦手なハリネズミが誰かを家に招待したい、だけど…。ネガティブな妄想がずっと続くことに嫌気が差す人や、共感する人も。来てほしい、いや来なくてもいい。いろいろ考えた挙句、誰も来なくていいと決めたとき、突然向こうからやって来た。来客に戸惑いながらも「このまま時間が止まりますように」と幸せをかみしめる。そしてちょっとだけ前向きになったハリネズミに幸せな気分になりました。

## 掲示板

敬称略



◆要約筆記デモンストレーション  
(公益信託高知市まちファン助成事業)  
イオン旭町店 2F おらんく広場  
3回目 4月22日13時~17時

※内容・PC要約筆記体験・紙芝居・クイズ  
※当日ふらりの参加も歓迎!  
買い物ついでに家族やご近所もお誘いで  
日頃の活動紹介はいかがですか!

### ◆30年度要約筆記者養成講座生募集 CM

・TVCM

テレビ高知で3月24日~4月8日の間  
詳細は同封の放送スケジュール表をご覧ください。

・FM高知 放送時間帯は局の選定でフリー  
の放送

期間等: 4月1日~30日

1日1回の放送

1回20秒

Amazonでのお買い物は ⇒ やまもものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまもものに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年4月 活動予定

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
7日(土)	理事例会	10:00~12:00	障害者福祉センター
14日(土)	土曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
19日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
22日(日)	高知県中途失聴者・難聴者の会	13:30~15:00	障害者福祉センター
26日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
28日(土)	理事会	10:00~12:00	障害者福祉センター

30年3月 活動追加

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
10日(日)	全要研高知支部研修会	10:00~12:00	障害者福祉センター
14日(水)	ノートテイク		
18日(日)	ノートテイク		
28日(水)	ノートテイク		

歳時記：4月(卯月・うづき) —日本の行事・暦—

卯の花が咲く月「卯の花月(うのはなづき)」の略。十二支の4番目が卯(うさぎ)なので「卯月」いわれるようになったという説もあります。

※「卯の花」は「空木(ウツギ)」の別名です。ユキノシタ科ウツギ属で白くてかわいい花を咲かせます。

おからを炊いた「卯の花」という料理の名前も、この花からきているようです。



《まっぴい》 ■今年の冬はこのほか寒い日が続いた。庭の千両、万両の赤い実はとくに鳥に食べられ色気のない庭が更に寒く感じられる今日この頃である。そうなるとミカンの出番。金網のザルにミカンを入れ軒下につるすと早速メジロ、ツグミ、ヒヨが寄ってきた。ヒヨとツグミは大きく食べ方も荒い。メジロも負けじと寄ってきてついでにバナナを食すのには驚いた。一方、畑を耕すとヒタキが親しそうに寄ってくる。散歩に行くと荒れ地でキジの声も聞いた。ほんの少しづつ春が近づいてくる。(美) ■春爛漫の季節だというに、肩から腕にかけての痛みで夜眠れない。手根管症候群だという。生活習慣が体に現れるとも言われるが、症候群と名がついているからには原因不明が多からう。自分を責めても仕方がない。よくもまあ次から次へ試練の続くことよ。益々一日が長く歳月は早い。人との交わりも生活の質も健康が左右するとは思いたくないが。(善) ■冬季五輪が終わった。ゼロコンマ何秒に挑む選手たち。強靱な精神力が肉体と技を支え驚異の記録を生む。幾多のドラマを観戦し寒風吹きすさぶ野外競技は抗えない力に左右されると思いを抱いた。向かい風が追い風か、スタートでの仕切り直しの数。それをも練習に組み込んでいるだろうアスリートの方々に失礼は十分承知しているが、今夜の風雨に自然は味方であって欲しいと願う。(滋) ■静岡県河津町で有名な河津桜が庭で満開に。中輪、一重咲き、紅色で花期が一ヶ月と長く、楽しませてくれています。最近では周辺の赤い実を食べ尽くした小鳥が間違えてか飛んできては「失敬、失敬」と飛び立っていきます。(三)